

小矢部市の文化財

No.

9

1 小矢部市の文化財の特徴

小矢部市には国指定重要文化財「護国八幡宮」をはじめ、県指定文化財14件、市指定文化財42件、合計57件の指定文化財があります。特に、小矢部川左岸は埋蔵文化財の密集地として知られており、今までの縄文観をくつがえした桜町遺跡や若宮古墳などの遺跡が200以上も存在しています。また、石川県との県境に位置する砺波山(俱利伽羅峠)は源平合戦の古戦場として有名ですし、石動や津沢のまちは江戸時代には加賀藩の要衝地として経済・文化的に発展し、「曳山」や「雅楽」などの郷土芸能も現代に受け継がれています。

小矢部市は自然と歴史があふれ、知的好奇心育むワンダーランドです!



小矢部市記念物地図

「若宮古墳(県指定:史跡)」

若宮古墳は全長約50mの前方後円墳で、6世紀初めに築造されたと考えられています。古墳からは埴輪が出土しており、現存する古墳で埴輪が出土した県内で唯一の古墳となっています。現在、古墳公園として整備され、立体模型や解説板で古墳時代のことを楽しく学ぶことができます。また、近くの「小矢部ふるさと歴史館」では小矢部市内の古墳から出土したよろいや鉄剣などが見学できます。



「臼谷の大杉(県指定:天然記念物)」

臼谷八幡宮の境内裏に幹囲8.5m、樹高約37mの大杉が生えています。地上約4mのところで大きな幹が2本に分かれており、その眺めはたいへん壮観です。

近くには「あしつき」の生息する池や、寒地系の「ぶな」と暖地系の「うらじろがし」が混生する林などがあり、自然の宝庫となっています。

「宮島峡一の滝とおうけつ群 (県指定:天然記念物)」

子撫川流域はいくつもの滝が点在していますが、宮島峡一の滝は高さ3mの断崖から川はばいっばいに流水が流れ落ちており、その様子は「ナイアガラの滝」を思わせます。また、石ころが水の流れて回転しながら小さなくぼみを削ってきた「おうけつ」という丸い穴が大小約20ヶ所あり、地質学上珍しい場所です。



「興法寺のハッチョウトンボとその発生地
附興法寺のトンボ類の群生地(県指定:天然記念物)」

ハッチョウトンボは主にアジア南部、台湾、九州地方などに生息する体長約2cmの日本で一番小さなトンボです。成熟すると雄は紅赤色となり、雌は腹部が太く、褐色と黒色のしまもようをしています。自然環境の変化にとっても敏感で絶滅しやすい種であるため、保護していく必要があります。興法寺地区はハッチョウトンボ以外のトンボ類も数多く生息しています。



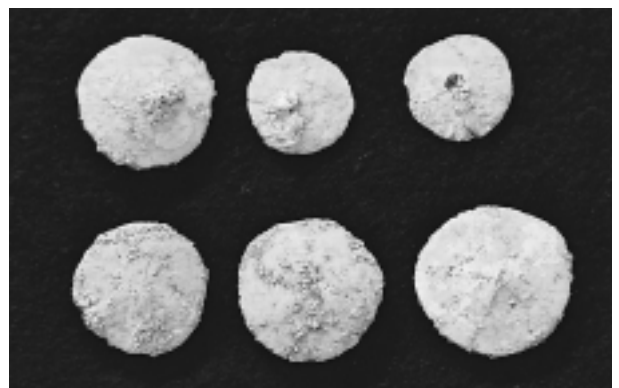
「岩抱きのけやき(市指定:天然記念物)」

宮島神社の参道の右手に、周囲17m、高さ3mの大きな岩を抱くようにして、幹囲3.6m、樹高約10mのけやきが生えています。

境内には岩石が多く、古代の磐境(神を祀るために社殿を建てず、岩などで囲んで神域としたもの)を今に伝えており、神秘的な雰囲気がかもしだされています。

「田川の貝化石(市指定:天然記念物)」

稲葉山のふもとにある田川地区の約1200万年から100万年前にできた地層の中から、笠石とよばれる、うにの一種カシパンウニの化石が多く見つかっています。地層からはカシパンウニの他に約30種もの化石が観察でき、地球の太古の歴史を物語っています。



3 小矢部市の文化財一覧

番号	指定別	種別	名称	員数	所在地	所有者又は管理者	指定月日
1	国	建造物	護国八幡宮	3棟	小矢部市 殖生1991	護国八幡宮	大13.4.15
2	県	〃	浅地神明社本殿	1棟	〃 浅地7433	浅地神明社	昭40.1.1
3	〃	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1躯	〃 新富町4-9	聖泉寺	〃
4	〃	〃	木造男神坐像	2躯	〃 殖生1991	護国八幡宮	昭43.3.19
5	〃	〃	木造阿弥陀如来立像	1躯	〃 西島45	光西寺	昭44.10.2
6	〃	〃	銅造阿弥陀如来坐像	1躯	〃 殖生4476	医王院	〃
7	〃	〃	木造僧形八幡神坐像	1躯	〃 〃	〃	〃
8	〃	〃	木造僧形神坐像	2躯	〃 杉谷内3088	日吉社	昭45.3.2
9	〃	工芸品	刀銘 宇多国宗 天文六年二月日	1口	〃 西福町1-7	神明宮	昭42.3.25

10	〃	古文書	埴生護国八幡宮文書	45点	小矢部市 埴生1991	護国八幡宮	昭40.10.1
11	〃	史跡	宮永十左衛門の墓	1基	〃 下川崎1385	小矢部市	〃
12	〃	〃	若宮古墳	1基	〃 埴生字上野14	〃	平5.4.9
13	〃	天然記念物	白谷の大杉	1本	〃 白谷	白谷地区	昭40.1.1
14	〃	〃	宮島峡一の滝とおうけつ群		〃 名ヶ滝子撫川河川中	小矢部市	〃
15	〃	〃	興法寺のハッコウトンボとその発生地附興法寺のトンボ類の群生地		〃 興法寺	〃	昭46.11.18
16	市	建造物	乗永寺鐘楼堂	1棟	〃 島253	乗永寺	昭63.6.20
17	〃	絵画	前田利秀画像	1幅	〃 八和町6-4	本行寺	昭40.3.16
18	〃	〃	越中四郡絵図	2幅	〃 城山町1-1	石動図書館	昭44.9.20
19	〃	〃	今石動御旅屋絵図	1枚	〃 〃	〃	昭50.2.5
20	〃	彫刻	鼓ヶ滝露天磨崖仏	1躯	〃 矢波	矢波地区	昭44.9.20
21	〃	〃	木造虚空蔵菩薩坐像	1躯	〃 新富町4-9	聖泉寺	〃
22	〃	〃	医王院仁王像	2躯	〃 埴生4476	医王院	昭63.6.20
23	〃	〃	医王院十王像	12躯	〃 〃	〃	〃
24	〃	工芸品	白漆俳諧奉納額	1点	〃 八和町6-4	本行寺	昭40.3.16
25	〃	〃	渡辺家の古面	3点	〃 峠3-3	渡辺忠男	昭42.3.8
26	〃	古文書	加茂家の古文書	49点	〃 水島212-1	加茂武志	昭40.3.16
27	〃	考古資料	乗永寺五輪塔	2基	〃 島253	乗永寺	平3.8.27
28	〃	石碑	沼田太郎右衛門高信碑	1基	〃 蓑輪5392	沼田キミュ	平6.9.26
29	〃	無形文化財	雅楽		〃 野寺12	洽聲會	平10.9.29
30	〃	無形民俗文化財	源氏太鼓		〃 下後畝	源氏太鼓保存会	昭40.3.16
31	〃	〃	酒とり祭		〃 〃	酒とり祭保存会	〃
32	〃	〃	願念坊踊		〃 綾子	願念坊踊保存会	〃
33	〃	〃	護国八幡宮宮めぐりの神事		〃 埴生1991	護国八幡宮	昭52.10.19
34	〃	有形民俗文化財	石動の曳山	11基	〃 八和町他	当該町内会長	昭55.8.1
35	〃	〃	石動の歌舞伎山	1基	〃 今石動町1	川原町町内会長	昭63.6.20
36	〃	史跡	前田利秀の墓	1基	〃 八和町6-4	本行寺	昭40.3.16
37	〃	〃	木槿塚	1	〃 城山町(城山公園内)	小矢部市	〃
38	〃	〃	獅子庵跡		〃 観音町1-9	観音寺	〃
39	〃	〃	砺波山古跡		〃 埴生	小矢部市	〃
40	〃	〃	阿曾三右衛門供養碑	1	〃 津沢	塚崎恒夫	昭40.3.16
41	〃	〃	前田秀継夫妻の墓	3基	〃 矢波	高田澄	〃
42	〃	〃	阿曾三右衛門墓	1基	〃 津沢	津沢区長	〃
43	〃	〃	竹亭焼窯跡		〃 埴生	太田正信	〃
44	〃	〃	為盛塚	1	〃 〃	小矢部市	昭44.9.20
45	〃	〃	勝興寺安養寺御坊跡		〃 末友	〃	昭44.5.22
46	〃	〃	宮永良蔵の碑	1	〃 下川崎	〃	昭46.10.23
47	〃	〃	一乗寺城跡		〃 八講田	〃	昭52.9.12
48	〃	〃	関野1号墳	1基	〃 蓮沼字干場30~36	前田彰三	昭62.7.28
49	〃	天然記念物	下屋敷の大いちい	1本	〃 下屋敷	下開康弘	昭44.9.20
50	〃	〃	岩抱きのけやき	1本	〃 了輪	了輪地区	〃
51	〃	〃	宮島の大杉	1本	〃 別所滝	別所滝地区	昭40.3.16
52	〃	〃	ぶな・うらじろがしの混成林		〃 白谷	白谷地区	〃
53	〃	〃	ぶなの天然林		〃 埴生	小矢部市	〃
54	〃	〃	大清水のあしつき		〃 白谷	〃	昭44.5.22
55	〃	〃	日吉社の大杉	4本	〃 杉谷内	杉谷内地区	昭45.3.19
56	〃	〃	末友のハッコウトンボと生息地		〃 末友字東大谷28	鷺田利四夫	昭56.9.8
57	〃	〃	田川の貝化石		〃 田川	田川地区	昭63.6.20

4 問い合わせ先等

小矢部市教育委員会 文化課

TEL 0766-67-1760